

起因物、事故の型：荷姿の物 - 激突されの死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	業種小コード	労働者規模
1	9～10	長さ1.5m、径10cm程度の角パイプ6本を作業員2名で持ちあげケンギを入れ、角パイプを置いたとき、ケンギが倒れて左手親指が挟まれた。	56	40301	10～29
1	15～16	出荷する製品をトラックに積み込むため、同工場3番降し口の2階倉庫内に於いて、床に積み上げられた樹脂製品を手作業で降し口まで運ぶ作業をしていた。製品は正方形の樹脂製タンクで4個一束になっており、重さ約6kgのものが5段重ねで50束あり、2名の作業員で運んでいた。被災者は、高さ174cmの位置にある5段目の製品の帯紐を右手で掴み引っ張った際、勢い余って製品の角を自分の鼻に打ちつけ、鼻を骨折した。	54	40301	50～99
1	10～11	店舗内において品出し作業中、二段台車の上段にあるサラダオイルの箱（13kg）を降ろす際、胸の上に載せる形で受けとめたところ、左胸に痛みを感じた。当初は大丈夫だと思っていたが、痛みが続いて悪化し、左第4肋骨骨折と判明した。	53	80209	50～99
1	10～11	客室において清掃作業中、回収した酒の空き瓶（1合）1本を入れたゴミ袋を持ち、次の部屋に移動していたところ、袋がブラブラと安定しておらず、瓶の底が左膝下部に激しくぶつかってしまい負傷した。	61	140101	50～99
1	21～22	店舗倉庫内にあるダンボールの搬出作業中、高所にあるダンボールを取ろうとしたが手が届かなかった為、同倉庫内においてパチンコ台（45kg）を搬入中の別の作業員に依頼したところ、搬入中のパチンコ台をその場に置きダンボールを取ろうとしたため、パチンコ台がバランスをくずし転倒し、土ふまずに当たり骨折した。	58	140309	10～29
		被災者は当日の派遣就業先である工場にて業務終了時の清掃を行って			

2	16~17	たところ、他の派遣会社のスタッフ2名が運搬するシンクが右ふとももにぶつかり負傷した。原因として、シンクが動くであろう位置に被災者が立っていたところである。その位置に立っていなければ事故は防げた形である。	50	10109	30~ 49
2	16~17	被災者は当日の派遣就業先である工場にて業務終了時の清掃を行っていたところ、他の派遣会社のスタッフ2名が運搬するシンクが右太ももにぶつかり負傷した。原因はシンク運搬作業を認識していたのにシンクが移動する経路に立っていたことによる。	50	170101	10~ 29
2	5~6	支店構内で空のボックス3本を所定位置に移動していたところ、後向きで引いていたため台車が引っ掛かりBOXが右足甲に倒れ、打撲・裂傷したものである。安全靴は着用していた。	70	170101	500 ~ 999
2	15~16	工場内の準ライン作業工程で、自動車部品の包装作業中、部品の入った箱が右側より流れてくるのを、右手で止めようとして弾かれ、右手を負傷した。	47	50101	—
2	14~15	天井クレーンを使って、バツカンの中に入ったスクラップをダンプの荷台に積み込み作業中、バツカンをひっくり返す為にフックを掛け変え中、既に積み込まれていたスクラップの上での作業で地盤が不安定だった為にバツカンが滑り、左足の甲にずり落ちて来た。	46	150102	1~9
2	15~16	事務所で、別の従業員が食堂のゴミ（リサイクル缶）を回収してドアを開けた時に被災者が外から入ろうとし、すれ違い時にゴミ（縦30cm×横30cm×高さ30cm、重さ1kg）が右足下肢にぶつかった。同僚に賠償請求はしない。	51	80209	50~ 99
3	7~8	荷受場でトラックからプラットホームに荷卸し作業をしているときに、トラック荷台とプラットホームに段差があるためスロープを使ってカゴ車を降す作業をしていたところ、カゴ車が倒れ作業者の顔に当たり、鼻骨を骨折した。	40	80109	10~ 29
		食品売り場への通路で、カートラックを使用して商品の引き込みをしていた際、売場から人が来てぶつかりそうになったので止まろうとした			300

3	21~22	が、カート（縦42cm×横128cm×高さ173cm、重さ200kg）が止まらず右足首に当たった。	19	80201	~ 499
3	11~12	オーロラビジョンの表示モジュール（約200kg）を移動させていた時、出荷用架台に取り付けられたキャスターが急に止まり、モジュールが移動方向へ転倒した。作業は2名で実施していたが、進行方向に対して左側スペースが狭かったため、モジュール左側の作業者が逃げ遅れて左膝を打撲し受傷した。（モジュール：W2,601mm、H2,193mm、D300mm、重さ約200kg）	39	11401	500 ~ 999
3	15~16	箱詰め玉ネギを台車に積み移動する際、傾斜で台車が傾いて中の箱が移動し、台車を支えていた左手親指を直撃し負傷した。	62	10109	30~ 49
4	11~12	敷地内の鶏舎から2号鶏舎に鶏をラックに移しトラックで運ぶ移動作業中に、鶏が入ったラックをトラックの荷台からパワーゲートに乗せ卸ろし作業をしていた時、パワーゲート上でラックが動き出した為、その動きを押さえようとしたがラックの重さに耐えかねバランスを崩し、ラック共に転倒した。その際に右足がラックの下敷きになり、右足膝内側脛骨を負傷した。	57	70101	30~ 49
4	9~10	建物前にて荷物を積込中、重い荷物でバランスを崩した際に電動自転車が転倒し、後部のリアカーが大きく傾き、突起物が左足の小指を押しつぶす形となり骨折した。	41	40301	10~ 29
4	7~8	店の駐車場で、鉄のかご台車（横60cm×高さ160cm）の中にキャットフード1袋6kg×10袋と10kg缶づめ（1箱）×4箱をフォークリフトを使って店舗のバックヤードへ降す為、かご台車の片方をロックしなかったため、かご台車がかたむいてきたので両手でささえようとした時、右顔面にあたり（まぶた2針縫）、右腕と右すね強打した。	69	40301	30~ 49
4	14~15	食品レジでお客様の精算をしている時に、お客様から缶ビール1ケースを手渡しされた時に、重みと勢いで缶ビールの箱があばら骨（右側）に当たった。	53	80201	50~ 99

4	4～5	作業中、右脇腹あたりに荷物が当たり痛みがとれなくなった。	47	40301	500 ～ 999
4	13～ 14	荷主事業所において、フォークリフトでパレットをトラック荷台に水平に付け、190kg、100Lのドラムをトラック荷台に積み込む作業中、社員と荷主側社員とで2名で行っていたところ、パレットから荷台に転がし積み込んでいた荷主側社員が手を滑らせ、倒れたドラムが荷台で作業をしていた社員の足に当たり、右足指の付け根を骨折した。	48	40301	10～ 29
5	19～ 20	閉店の片付けの際店内の飲料などの積んであるカゴ車をしまう際、床の段差にカゴ車が突っかかり、転倒してカゴ車の下敷きになってしまった。	45	80209	1～9
5	15～ 16	工場1F冷却ライン付近において、加工用酢飯を専用BOX（10kg）へ入れて台車に積み上げていたが、積み上げが不安定な状態だった事に気付かず出荷室へ移動させようとした際に、BOXがずれてきて、それを支えようとした際にBOXが胸に当たり骨折した。	56	10109	30～ 49
5	14～ 15	洗浄室コンテナ搬入口で作業していたところ、別の労働者が移動させていたコンテナに右足が巻き込まれ、右足腱を損傷した。	44	10109	30～ 49
5	12～ 13	当社、組配工場内で制御盤（W2250×H1800×D450、重さ300kg）を出荷する為、2tのトラックに床上操作式クレーンを使って、トラックの荷台に積込作業中、クレーン操作者の合図が補助作業をしていた被災者に伝わらなかったため、制御盤が揺れて、荷が左足の脛に当たり負傷した。	66	11409	30～ 49
6	23～ 24	4Fフォト外観工程で、カセット（約10kg）を台車からレーンに移す際、周りに人手がいなかったため、1人でレーンに移送しようとした時、右側のバランスが崩れてカセットが落下しそうになったため、右胸上部で受け負傷した。（2人作業のところを1人で作業した。）	44	170101	100 ～ 299
		当社敷地内にある有蓋車庫において、同僚と一緒にバス用バッテリーを運んで来たトラックの誘導及びバッテリーをトラックより降ろす作業に			

6	13～ 14	従事中、同僚の一人がトラックの荷台よりバッテリー（重さ約55kg）を降ろそうとしたところ、バッテリーの重さで当該バッテリーを地面に落とし、地面に落下したはずみで転がった当該バッテリーが、一緒に作業をしていた被災労働者の右足甲に当たり負傷した。	60	40202	30～ 49
6	23～ 24	4Fフォト外観工程で、カセット（約10kg）を台車からレーンに移す際、周りに人がいなかったため1人でレーンに移そうとした時、右側のバランスが崩れてカセットが落下しそうになった為、右胸上部で受けて負傷した。通常2人で作業するところを、1人で作業した。	44	11305	300 ～ 499
6	10～ 11	コンテナの右側の扉を閉める時に。一部コンテナ内部のパレットが少し前面に出ており、そのパレットをコンテナ内部に押し込む為、強く扉を閉めた時に扉固定ハンドルがコンテナ下方のフックに当たり、右回転し右手薬指に当たった。	50	170209	30～ 49
6	21～ 22	荷物を保冷車（カゴ）に入れる作業をしている時に、1.5m幅の通路で、別の人間が運んできた別の保冷車（カゴ）に接触し、右の肩辺りを痛めた。	43	170101	100 ～ 299
6	14～ 15	港内の荷捌地にて、空のケーブルドラムを解体・梱包作業中、空のケーブルドラムを固定しているボルトとバーを外した後、立った状態のケーブルドラムを足で蹴って向かう側へ倒そうとしたところ、円形の部材が被災者の方向へ倒れてきた。逃げきれず、右膝部に当たり、被災した。	39	50202	30～ 49
7	16～17	荷物を載せてあるカゴ車の向きを変えようと、安全バーを外しカゴ車右側を引っ張った際、底板のフック部分が折れていて右側が開いた状態になってしまい、載せてあった商品10ケースが倒れてきたのを体全体でケースが倒れないように支えた。その際、右腕に痛みが走った。	39	170101	30～ 49
7	16～17	当寺院内にある倉庫において、棚卸しで線香の数を確認するためダンボールを開けた際、ダンボールの蓋の角が左目の眼球に当たり負傷した。	69	170209	50～ 99
		営業所構内で荷物の仕分け作業をしているときに、フタのあいている仕			50～

7	13~14	分けボックスの横を通りフタに体があたってしまいフタが倒れてきて左アキレス腱に当たり損傷してしまった。	48	40301	99
7	14~15	商品在庫の保管場所での出庫作業をしていた。7段積みの最上段からダンボールを下ろそうとした時に誤って頭の上に落とした。	44	80401	300 ~ 499
7	13~14	工場内でトラックにドラム缶を、積み込み、その後、積み荷の整理をしている時、ドラム缶が体の方に倒れ、その際、左足に、接触し、負傷した。	53	40301	10~ 29
7	10~11	サブ材の乗ったパレット（4m×6m）20Tを25Tクレーンで沖バージから70mの移動作業を行うのにバージから水切り後B棟荷上場で方向転換していたら、クレーンが徐々に西側に流れていたことに気づかず作業していた被災者に当たってしまった。	65	11501	10~ 29
7	4~5	牛舎で飼料の荷卸しが終わり、隣接する牛舎内の事務所へ納品伝票を置き、外へ出たところ、出入口の横に置いてあったパレット上の2段重ねの牧草ロールが突然崩れた。横を歩行していた本人は、背中付近から押される形で牧草ロールが当たり、倒れ込んだ。	52	40301	30~ 49
7	13~14	派遣先の食肉加工場で、ゴミ（廃棄処理物）の入った大型の箱がキャスター付きの台車から落ちてきたため、とっさに抑えようとしたが、箱の重量に耐えきれず尻もちをつき、その際胸椎の骨折および左足首を捻挫した。	59	170101	100 ~ 299
7	15~16	配送センターの倉庫内で作業中の被災者が、商品（会議テーブル）が縦積みされたカゴ台車付近を通行したとき、カゴ台車から倒れてきた商品とぶつかり、骨盤を骨折した。	67	170209	10~ 29
7	9~10	1階入荷エリア7番レーンで、商品の検品作業中、レーン上のダンボールを引こうとしたときに、前方よりダンボールを押されたため、右手首を捻挫した。	21	50101	500 ~ 999
	19~	トラックヤードエリアからオフロードエリアに向かう通路にて、到着し			50~

7	20	た輸出CMPをオフロードエリアに向けて搬送中、後方から同様に搬送されてきたCMPが踵にぶつかった。	42	40301	99
7	16～ 17	走行中、対向車の後ろから原付バイクが飛び出し、自車の前を横切ったので急停止した際、積荷の鋼材が移動して、トレーラーの座席を押しよる形で運転席に飛び出し、腰及び背中を負傷した。	23	40301	50～ 99
7	17～ 18	事業所敷地内の充填室前で、ハロン化物消化設備放出試験用テストボンベの排圧作業を行っているときに、ボンベの上部と下部を職員2人で支えながら、手動起動装置で操作していたところ、排圧の圧力で支えきれなくなったボンベが倒れて、下部で支えていた職員の頭部をかすめるように接触して負傷した。	24	80109	10～ 29
9	8～9	当社にて、店内で商品品出しに使ったカゴ車を片付けるため、カゴ車3台（1台約20kg）を畳み、店舗入口から外へまとめて運び出した際、カゴ車同士がぶつかった衝撃でカゴ車の車輪1つにロックがかかってしまい、カゴ車3台がバランスを崩し右足に倒れてきて負傷。	26	80209	10～ 29
9	20～ 21	地下1階洗い場にて、陶板（1個約280g）を洗いあげ、これを収納ケース1箱に120個入れ、高さ120cmの台車の上に格納しようと床面より持ち上げたところ、この収納ケースが本人側に傾き、ケースの縁の部分が右胸部を圧迫した。このとき、右胸部を骨折した。本来、この業務は収納ケースに50個を目安収納しているが、倍以上の個数を収納したため、重みにたえきれず、収納ケースが傾いたことによる事故であった。	56	140101	10～ 29
9	4～5	被災者が降ろし場にて仕分け業務中、ベルトコンベアーからはみ出て運ばれてきた荷物が、被災者の腰部に強く衝突しその衝撃で前方へ転倒。それにより腰部を痛めた模様。	41	50101	50～ 99
9	14～ 15	当社1F工場内での作業後、後片付けの最中、汚れを拭くためにウエスの入ったダンボール箱からウエスを取り出そうとしたところ、中でウエスが絡まっていたダンボール箱ごと落下、右肩を直撃した。	50	10701	10～ 29
		弊社ビルのエレベータ内に於いて、印刷物を載せるコンテナ（600mm×900mm×1364mm）をB1階から6階へ移動させようと、エ			

9	10～ 11	レベータに乗ろうとした所、エレベータ内が混んでいた為、一緒に乗っていた男性がフォローしてくれ男性がコンテナをエレベータ内に引き寄せようとした際に、どこかに手を挟んで負傷した。咄嗟の事でどこに挟まれて負傷したのかは不明。	39	170209	1～9
9	19～ 20	ゴミを捨てに行く際、厨房倉庫内に保管してある炭酸ガスを倒してしまい、右母趾を打撲した。	17	140201	10～ 29
9	11～ 12	所内にて、4tトラック（ウイングボディ）から鉄材（80cm×30cm×5cm）を50枚ほど載せたアミカゴ台車（110cm×110cm×50cm総重量約700kg）を降ろす為、ウイングを開け、フォークリフトを待っていたところ、ストッパーをかけていたにも関わらず、車体が傾いていた為、アミカゴ台車が動き出し、90cm高のトラック荷台から落ちそうになり全身で体当たりし両手で押し返したが重すぎてアミカゴが転落した。この時、落下したてきたアミカゴが右足に当たり切傷し、強く両足を踏ん張ったまま押し返されたので両足を捻り、左足首は捻挫、右足首を強くひねり右足首を剥離骨折した。	50	40301	10～ 29
9	13～ 14	倉庫にて重機のバケットを片付けるのにバケットを単管で吊り上げた所、バケットが傾いて単管を滑り単管とバケットで左手人差し指を挟む。	48	30209	1～9
9	16～ 17	郵便局1F輸送部作業場打鍵レーンにおいて、レーンにひっかかり、手を伸ばして移動させた、その際に後方から流れてくるのに気付かず、左脇あたりに接触し負傷した。	61	110101	1000 ～ 9999
9	15～ 16	当社倉庫内において棚入れ作業中、ダンボールを棚に搬入していたところ、同僚が運転するリーチリフトが近づいてきて床に置いてあったパレットに当たり、そのパレットが押され右足が棚との間に挟まれて負傷したものである。	24	40301	100 ～ 299
10	11～ 12	店舗内ピットにおいて、バルンサーを使用して作業していたところ、死角から別の方が作業していたタイヤがイレギュラーバウンドしたことにより転がり飛び、それが右膝に直撃したもの。この事故により歩けなく	31	80209	1～9

		なる程の痛みがあった。			
10	18～ 19	事業所駐車場において、2人1組で大型の荷物をトラックに積み込み作業中、荷物がバランスを崩し、倒れてきた。1人は避けて無事であったが、被災者が荷物の転倒を防ごうとしたところ、支え切れず荷物は倒れ、その際に被災者の左脚が荷物の下敷きとなり、大腿部に打撲が発生した。	33	40301	10～ 29
10	4～5	店舗搬入口にて納品の引き入れ作業中、トラックのストッパーがかかっておらず荷物が落下し、「危ない」との声が聞こえた為、その声に反応し近づき、ストッパーがかかっていると思い受け止めたところ、落下に巻き込まれ左腕と左足を受傷した。	26	80201	1～9
10	10～ 11	事務所内（2F）にて事務所移転の作業中、2人で台車から机を卸す際相方とのタイミングが合わず右脇腹に机の天板の角が当たってしまった。当初はさほど痛みは無かったが、後日になって痛みが激しくなった。右肋骨骨折が判明した。	56	40301	10～ 29
10	10～ 11	就業場所（派遣先）の2番倉庫内にて、材料の荷受けをしていた。H鋼という鋼材を業者に下ろしてもらう際、養生する為に、下に敷くいらぬ段ボールが必要になった。その段ボールが、被災者の丁度胸の高さ位ある材料が入った段ボールの向こう側にあった為、右手を伸ばして取ろうとしたところ、手前の段ボールが左側の肋骨を押しように入ってきた。当日は、それ程痛みを感じなかったが、日増しに痛みが強くなって来たため受診、骨折をした。	43	170101	500 ～ 999
10	14～ 15	包装工程の荷積み作業中に、別の作業員の動きに気づかず、ダンボール箱を受け取ろうとして、ラインに近づいた際、別の作業員が持っていたダンボール箱が左眼に当たり負傷した。	38	10104	—
10	16～ 17	工場内にて、脱型後のコンクリート製蓋（1130×500×180mm・200kg）をクレーンを使って縦から横にしようとした時、吊り金具（アイボルトM20）のネジの入れ込みが少なく、はずれ、倒れてきた。コン	53	10901	100 ～ 299

		クリート製蓋が左足脛に当たり負傷した。			
11	10~ 11	ドライバーが荷降ろしをしている際、荷物が荷台でバウンドして、当社アルバイトの腰部に荷物が当たり打撲を負ってしまった。	32	40301	10~ 29
11	10~ 11	本所R棟1階荷捌き室（開梱室）において、開梱作業をしている時に、背後に立ててあったパレット（1×1.5m、重量40kg）に体が触れ、その反動でパレットが手前に倒れ、左足首に当たった。すぐに当所健康管理室にて受診し、痛みが引かなかった為、午後から病院を受診した。	62	10803	1000 ~ 9999
12	9~10	客先廃棄物置場で段ボールの収集作業をしていた時、段ボール入れのカゴの段ボールがくずれないようにおさえに使っていた鉄板がたおれ、鉄板の角が左ふくらはぎに当たり、ふくらはぎを切った。鉄板を止めていた棒がひもから外れ、後ろを向いていた時に鉄板が倒れた。	49	150102	10~ 29
12	8~9	横断地下道掘削作業の重機足場に使用するため、敷鉄板（1.5m×3.0m、t=22mm）をクレーンにて移動・仮置きする際、鉄板が倒れる方向に誤って退避し、逃げようとしたが間に合わず、置かれていた水タンクと鉄板との間に右足を挟まれた。	54	30106	1~9
12	13~14	店舗に到着し、荷卸しを行う際に、ゲート上からカーゴ（ビール瓶6ケース位）を下ろそうとしたところ、カーゴが傾きバランスを崩して転倒してしまった。その際に左足がカーゴの下敷きになり、右手首と左足首をひねってしまい、道路に打ちつけてしまった。	47	50101	100 ~ 299
12	16~17	派遣先にて、鋼材のリコイラー作業に従事中、巻き付け作業が終了し、コイルカー（コイルを載せた台車）が機械から離れる際、ドラムサポート（巻き付け作業中に芯を支える安全バーで、機械の出口側に設置されている）が上がったままコイルカーが動き出し、ドラムサポートに引っ掛かったコイルが奥へ抜けそうになった。被災者が咄嗟に右手で奥側のコイルを押さえたとき、奥側に設置された転倒防止バーとコイルに環指および小指を挟まれ受傷した。	24	170101	100 ~ 299
		昼勤務の残業時間帯に、貨物機に貨物用パレットを載せていた。載せたパレットを固定するため、センターロックを掛けようとした際、パレッ			100

12	1~2	トが動き出し、本人の方に近づいて来た。パレットをかわすことができず、足の甲の上にのり負傷した。	36	170101	~ 299
12	15~16	配送先敷地内で、荷物の積み降ろし作業をしているとき、ビール樽20? (20kg) を2段積みにしてあるところ、上の段の樽を取るときに手を滑らせたため、右手小指に樽が当たり、右手小指を骨折した。	47	40303	10~ 29
12	14~15	本工事ブロック積の取り付け石積を作業中、移動式クレーンで約30kgの間知石をワイヤーロープで吊り降ろし、ワイヤーから外したときに右足に転び、打撲した。	66	30106	1~9

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_08.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html)